

# シンナガサキミーティング開催レポート

## i n 桜町・新興善地区



令和6年12月12日（木）、自治会や青年部、民生児童委員など18人の皆さんにお集まりいただき、桜町・新興善地区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、まちが一体となるおくんちの話や、夏祭り、餅つき、夜警、除草作業などの地域活動、そのほか地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



## いただいたご意見

### ①市役所の跡地活用（新たな文化施設）について

新たな文化施設については、東京と同じサイズの舞台があれば、東京でしか見られない一流の舞台を長崎で観ることができ、観客も増えると思う。現在の計画はどのようになっているか教えてほしい。

市の考え方  
回答

新たな文化施設は、芸術性と専門性の高い公演に対応できるとともに、様々なジャンルにも対応できる十分な広さの舞台（基本計画における舞台構成案イメージでは袖舞台を含む幅40m程度×奥行16m程度）を設けるなど、多様な演目が可能なホールを整備することとし、客席数は、市内ホール全体の機能と規模のバランスを図り、稼働状況が平準化できるよう、また、どの席からも舞台が見えやすい満足度の高い鑑賞条件を備えたホールとするため1,000席程度としています。

具体的には、今後の設計や管理運営計画策定段階において、市内のホールの機能や規模、利用状況等を踏まえ、新たな文化施設で必要とされる設備等の利便性や効率性などとともに、市民の皆さんが様々な芸術文化に身近に触れることができる施設となるよう検討してまいります。

なお、令和6年8月に新たな文化施設の整備場所である市庁舎本館跡地及びその周辺における地域活性化やこれら用地の活用に向けた整備事業に係る長崎市の財政負担の軽減につなげるため、PPP/PFI等の民間活力の導入について、直接の対話により、市場性の有無や実現可能性、また、民間事業者の参入意欲や参入しやすい条件等を把握することを目的として、サウンディング型市場調査を行ったところ、民間事業者から様々な観点からの提案があり、一定の関心を確認することができましたが、具体的な施設内容等の詳細についてさらに掘り下げるため引き続き調査を行う予定としており、現時点では設計や管理運営計画策定期間は未定となっています。

## ②イノシシ対策について

立山地区上部では、イノシシが出る。どのような鳥獣対策を行っているのか。

市の考え方

回答

市内の有害鳥獣に関する相談は年間1,000件を超えており、中でも赤道を含む生活道路や住宅地等で発生する生活環境被害相談は、7割を超えています。

長崎市では、「防護」「捕獲」「棲み分け」の3対策を柱に有害鳥獣対策を進めており、「防護対策」につきましては生活環境被害を受けている自治会に対してワイヤーメッシュ柵（防護柵）の貸与事業を実施するとともに、柵の運搬・設置等が困難な自治会に対して業者設置費用の半額を助成する制度を設けています。

イノシシ等の出没や被害につきましては、現地調査を行い、効果的な対策などについて相談対応させていただきますので、長崎市有害鳥獣相談センター（841-0477）へご相談ください。

## ③自治会の加入促進について

自治会加入率が下がっているが、加入促進のために、市としてどのような取組みを行っているのか。

市の考え方

回答

若い世代やスマホ世代向けに自治会デジタル化推進事業として電子回覧板機能を備えたアプリの試験導入や、現役世代の地域活動を支援するため、地場企業の地域貢献活動や従業員の地域活動休暇制度の導入などを促す「ながさき型地域貢献企業等認定事業」を今年度から行っています。

また、自治会加入の負担が大きい等の誤解を解くため、若い世代をターゲットに音楽に合わせダンスしながら自治会活動を伝えるラップ調の動画を制作し、周知広報を行っています。



▲PR動画

## ④市の管理地の除草について

市の管理地について、年2回草刈りがあるが、草刈り機で表面を刈るだけで、根本的な除去になっていない。毒性の問題で除草剤を使用していないのかもしれないが、雨後に草が茂っているので、丁寧に管理してほしい。

市の考え方

回答

現在、市の管理地については、市が業者委託して対応しているところです。ご意見にもあった様に、人体や他動物への影響も懸念されることから除草剤の使用は控えております、今後は、草刈りのみではなく、除草シートなどによる対応を検討したいと考えております。

そのほか、「おくんちの演し物を継承していくには、人もお金もかかるので、支援協力をお願いしたい」、「こどもの遊び場が少ない。校庭の開放などを検討してほしい」、「大型事業の今後の計画を知りたい」などのご意見をいただきました。

## 鈴木市長のひと言

マンションの増加や若い世代が多いことなど、中心部ならではの特色や課題があり、みなさんが工夫しながら活動をされていることがよく分かりました。また、おくんちを中心に地域コミュニティが形成されていることも大きな特色だと思いました。

今後も、色々な形で、市も一緒になって様々な課題に取り組んでいきたいと思えます。



## 参加者からの感想

行政のトップの方から直接お話をできたのが良かった。

地域コミュニティの活性化を目指して、たくさんの住民と協力しながら住みよい地域にしていきたい。

市長や他の町の人のお話を聞くことができ良かったです。

各町の問題点等、気づきがあった。長崎に対する熱い意見をたくさん聞くことができた。

